



GLOCOM 六本木会議

年次総会2024

@国際文化会館

基調講演：

『デジタルガバナンスの時代』

谷脇 康彦氏

株式会社インターネットイニシアティブ取締役副社長
国際大学 GLOCOM 上席客員研究員



活動報告

「2023 年度 GLOCOM 六本木会議の活動」

小林 奈穂

GLOCOM 六本木会議 事務局

Q&A / ディスカッション

モデレーター：

渡辺智暁

GLOCOM 六本木会議 企画委員

2024.4.18 (木)

17:30 ~ 19:00

招待制 (後日アーカイブ動画配信あり)

公益財団法人 国際文化会館

岩崎小彌太記念ホール

東京都港区六本木5-11-16

<https://www.i-house.or.jp/>

アクセス / 地図はこちら→

詳細は裏面をご覧ください



17:00 受付開始

17:30 開会・活動報告 「2023 年度 GLOCOM 六本木会議の活動」

- 小林 奈穂 (GLOCOM 六本木会議 事務局・国際大学 GLOCOM 主幹研究員)

17:50 【基調講演】『デジタルガバナンスの時代』

- 谷脇 康彦氏 (株式会社インターネットイニシアティブ取締役副社長・国際大学 GLOCOM 上席客員研究員)

18:30 Q&A / ディスカッション

- モデレーター: 渡辺智暁 (国際大学 GLOCOM 主幹研究員 / 教授 / 研究部長・GLOCOM 六本木会議 企画委員)

19:00 閉会 * 閉会后、館内会場にて立食形式の懇親会を予定しております。ぜひあわせてご参加ください。

基調講演

『デジタルガバナンスの時代』

データが社会経済活動の基盤となるデータ駆動社会においては、ビッグデータ解析を基礎とする個別化・自動化・最適化を通じて社会課題解決のための効率的なソリューションづくりが進むことが期待される。他方、データという無形資産の特性に対応した社会システムを構築・運営するためには、デジタル技術の制御可能性（コントローラビリティ）を確保すること、つまりデジタルガバナンスのあり方が重要な課題となる。具体的にはデジタルガバナンスについて、データガバナンス、AI ガバナンス、セキュリティガバナンスの3つの要素に分解して論点を整理するとともに、伝統的なインターネットガバナンスのあり方を越えたデジタルガバナンスを巡るグローバルな議論の必要性や方向性について考える。



谷脇 康彦

株式会社インターネットイニシアティブ取締役副社長
国際大学 GLOCOM 上席客員研究員

1984年4月郵政省（現 総務省）に入省 同省において郵政大臣秘書官、在米日本大使館 ICT 政策担当参事官を経て、2013年6月 内閣審議官・内閣サイバーセキュリティセンター副センター長、2016年6月に総務省 情報通信国際戦略局長、2017年7月 同政策統括官（情報セキュリティ担当）、2018年7月 同総合通信基盤局長、2019年12月 同総務審議官（郵政・通信担当）を歴任、2021年3月退官。2022年1月 IJ 入社、同年6月より取締役副社長として経営統括補佐を担当。

参加方法・お申込みについて

- ◇ 本イベントは国際文化会館（リアル会場のみ）での開催といたします。また、会場スペースの都合により招待制とさせていただきます。
- ◇ オンライン視聴をご希望の方は、後日公開するアーカイブ動画をご視聴くださいますようお願い申し上げます。

参加お申し込みはこちら↓

<https://roppongi-kaigi.org/event/2866>

本イベントは、招待制とさせていただきます。

ご招待者の皆様には、参加コードをEメールにてご案内いたします。参加コードをお持ちでないご参加希望の方はお問い合わせください。

GLOCOM 六本木会議 事務局

(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター内)

〒106-0032 東京都港区六本木6-15-21 ハークス六本木ビル2階

お問い合わせ：

app@glocom.ac.jp

03-5411-6675 (担当：小島)